

講演

土木學會誌 第七卷第六號 大正十年十二月

支那漫遊雜話

會員 工學博士 那波光雄

今晚ハ笠原内務技師ノ現今最モ必要ナル都市計畫ニ就テ最モ興味アル斬新ナル御話ガアリマシタ又ソレニ續イテ八田鐵道技師ガ歐羅巴デモアマリ皆様ガ御出デニナラス西班牙ノ首府マドリッドニ於テ兩三年前新タニ開通シタル地下鐵道ヲ自ラ御視察ニナツテ其ノ話ヲナサル等デアリマシタトコロ公務出張中水害ノ爲ニ今日ノ間ニ合ハナイヤウナコトニナリマシタ爲ニ私ニ何か其ノ補缺トシテ話ヲセヨト昨晚御話ガアツタヤウナ譯デ甚ダ突然デ不準備ナル上然モ支那ト云フ最モ近ク又皆様ガ常ニ耳目ニ御觸レニナツテ居ル國ノ事ニ就テ御話ヲスルノデアリマスカラ皆様ノ御期待ノ面白キ有益ナルオ話トハ異リ無御聽キ苦シイコトデゴザイマセウガ暫ラク御清聽ヲ煩ハサレムコトヲ希望致シマス

演題ハ此處ニ雜話ト致シテアリマスガ成ベク交通然モ運輸機關ニ就テノ一斑ヲ御話シタイト思ヒマス殊ニ私ハ視察以外ノ用務ヲ持チマシテ往復日數共僅カ四十日間ノ旅行デアリマシタカラ旅行致シマシタノハ廣キ支那ノ極一小局部デ其ノ觀察モ皮相デアリマスレバ申上グル事ニ或ハ誤リモアラウト思ヒマスカラ之ヲ御話スルト同時ニ彼地ノ事ヲ御熟知ノ方ニハ色々御修正ヲ願ヒタイト存ジマス

第一ニ道路ニ就テ鳥渡御話シテ見マス大道路網ハ秦ノ始皇帝ガ萬里ノ長城ト共ニ作ツタ然ルニ萬里ノ長城ハ今日尙ホ存シテ居リマスガ道路ハ悉ク荒廢ニ歸シタト云フ事ヲ聞イテ居リマスサウ云フ譯デアリマシテ私ガ視マシタトコロノ局部ノ道路ハ實ニ不完全デ都市以外ニ踏ミ出シマスト道路ハめたりんぐナク車ノ轍ノ爲ニ荒サレテ尤モ凸凹ノ甚敷處即チ道

路デアルト云フ感ジガスルノデアリマス夫故ニ或處ニ行キマスト道路ノ惡イ處ヲ避ケテ耕地或ハ原野ノ中ヲ車馬ガ通ズルト云フ風ニ見受ケタノデアリマス尙物ヲ運搬スル馬車ノ如キハ五六頭ノ馬或ハ騾ヲ駕シマシテ無理ヤリニ挽イテ通ルノデアリマスカラ道路ハ彌ガ上ニ破壞サレテ仕舞フノデアリマス併ナガラ北京ニ程近イ萬壽山ヘノ道路等ニアリテハ道幅ハ隨分廣ク其ノ一部ニ幅六尺位ノ敷石ガシテアリマスカラ人力車ヤ乗用馬車ハ之レヲ通ツテ居ルノデゴザイマス北京ノ市街モ非常ニ道路ガ惡カツタソウデスガ昨今ハ見カワス許リニ良クナツタト云フコトデ大道ハ三分シ中央ヲ乗用ノ馬車人力車及自動車道トナシ是ノ部分ヲたゝる。ろゝどニナシタル處アリテ東京ヨリモ却テ宜イ位デアリマス併シ左右ノ部分ハ舗料ヲ施サズシテ自然ノ儘ナル上荷馬車ハ中央ノ舗道ヲ通スルヲ許シマセヌカラ左右兩側ヲ通ルニ依リ雨ノ日ハ泥濘脛ヲ沒スル有様デ車カラ降りテ旅館或ハ他ノ家ニ這入ル時ナド瀨取りガ欲シイ位デアリマス夫レカラ小路ニ於テハ御承知ノ通り支那人ハ織物製ノ履ヲ穿イテキル加減デアリマスカ玉石敷ニナシ履ノ汚レナイ様ニナツテ居ル所カ多クアリマス又古イ都デ風景明媚ヲ以テ名アル杭州デアルトカ蘇州デアルトカ云フ客ノ澤山行ク處ニナリマスト郊外ノ遊覽地巡リヲナス道路ハ甚ダ狭ク幅ハ僅カニ六尺位デアリマシテ連モ車ハ通レマセヌカラ轎子或ハ驢馬ニ依ル外アリマセヌガ其ノ道幅ノ中二尺位ハペーぶめんとガシテアルノデアリマス杭州ノ如キハ遊覽里程ハ三四里アリマスガ全部ペーぶめんとガシテアルノデアリマス蘇州ニ於テモ同様デアリマス又道路ノ惡イ方ノ例ヲ申シマスト北京カラ僅カ二十五哩ノ處ニ南口ト云フ停車場ガアリマシテ南口カラ有名ナ明ノ十三陵日本デ言フト先ヅ日光ノヤウナ處デアリマスカラ支那ニ行ツタ人ハ必ラズ此處ヲ視ナケレバナラナイト云フ位デアリマスコトハ十三陵ニ行ク路ハドウカト言フト南口ヨリ僅カニ八哩ナルニ車ガ通ジナイノデアリマス夫故ニ矢張り轎子或ハ驢馬ヲ雇ツテ行クコトニナリマスカラ僅カノ道程ニ一日ヲ費スノデアリマスソレガ山デモアツテ工事ニ困難デアルカト申シマストサウデハナグテ極ク平坦デアリマス併ナガラ河ガ近クノ山カラ流レ出テ居リマスカラ河床ハ急傾斜ヲナシ出水時ノ水勢激烈ナルハ想像ニ難カラヌ處デアリマス此ノ如クニシテ架橋困難ナルニ平常ハ水無ク無論橋ノ必要モ無イト云フノデ之ヲ設ケス又河岸ノ如キハ氷ノ洗フニ委シテ隨分峻

シクナツテ居リマス此處ヲ四人ノ男ガ轎子ヲ舁イテ越スノデ隨分乗テ居テモ氣ガ揉メマス斯ル場所ニハ日本或ハ其他ノ國デアリマスレバ自動車位ハ通ハシテ居ル筈デスガソレナ風ニ棄テ、アルノハ吾々カラ見ルト不思議ニ感ズルノデアリマス尙一ツ例ヲ申上ゲマスト丁度北京カラ京綏鐵道ニ依リ二百三十哩ヲ隔ツル處ニ大同府ガアリマス夫レカラ八哩程行クト雲崗ト云フ處ガアル此ノ雲崗ニハ北魏時代即チ今カラ約千五百年前ニ作ラレタ大キナ佛像ヲ彫付タ石窟ガ二十箇所モアリマス是ハ支那古代美術トシテハ最モ秀デタモノダサウデ關野博士ガ私ニ特ニ推獎セラレタモノデアリマス又京綏鐵道ハ支那ノ既設線中ニテハ山間ノ最難線トシテ有名ナルモノデアリマス故ニ此兩者ノ視察ヲ兼ネ北京滯在中ノ三日ヲ割イテ觀光ニ出掛ケタノデアリマス早朝北京ヲ發シテ晚方大同府ニ著キマシタ所ガ其處ノ保線區主任驛長等ニ豫テ交通部カラ通知シテアリシモノト見ヘ多數カ宿舍代用ノ車中ヘ訪問出迎ヘラレタルニ依リ明日見物ノぶろぐらむヲ作ツテ呉レト頼ミマシタ所ガ其ノ日ハ少シ暴レ模様デアリマシタ爲メニ其ノ技師等ハ此ノ天候ニテハ行ク事ハ思ヒモ寄ラスト申スノデアリマス何故カト聞キマシタ所ガ其ノ道路ノ大半ハ河ノ中デアルカラ降雨ノ際ハ大水急遽ニ襲來シテ到底逃グル隙ナク通行中ノ馬車モ人モ共々ニ押シ流サル、コト稀デナク當地方ニテハ朝虹ヲ見レバ雲崗ニ行クナト云フ俚諺モアル今日ハ此ノ通り風モ強ク天候モ不穩ナレバ朝虹ドコロノ騷ギデハナイト申スノデアリマス所ガ吾々ハ北京ヘ歸ル日ガ限ラレテ居ルノデアリマスカラ非常ニ落膽ヲ致シテ何か良キ工夫ハナカラウカト殆ド二、三時間モ小田原評議ヲ致シ遂ニ決定ヲ見ズシテ運ヲ天ニ任セテ寢ニ就キ翌日ノ朝ニナツテ見ルト未ダ雨ガ降ツテ居リマシテ驛長等ハ何シテモ馬車ノ應ズルモノガナイカラ今日ハ行ケナイト申シマスノデ大ニ困却シテ居リマス内ニ段々雨足ガ上リマシテ馬車モ來テ呉レマシタカラ一行四人ニ危險ダト云フノデ十人ノ案内者ガ附イテ七臺ノ馬車ニ分乗シ兼テ聞イテ居リマシタ支那式大名行列ヲ整ヘテ出發致シマシタ蒲鉾馬車ト申シマシテ普通支那人ハ數人乘リマスモノデ構造ハ日本ノ昔ノ牛車ヲ小サクシタヤウナ物デ乗客用デアリマスカラ轆ニ彫刻ガシテアツタリ或ハ色々金物ナドカ附ケテ飾リガアリマスガ併シナガラ彈機ガ無イ其ノ上ニ蒲鉾形ノ圓イ屋根ガアツテ其ノ周リニ淺黄ノ幕括ガアリ下ニハ汚ナイ薄キ蒲團ガ敷イテアルノデアリマ

ス之レデ前ニオ話シタヤウナ轍デ荒サレタル地帯ヲ無理ヤリ進行スルノデアルカラ動搖激シク臂ノ痛ミハ素ヨリ胃腸迄
 モ響キ渡リ時々ハ頭ヲ屋蓋ニ打チ付ケ到底晏座杯ニハ堪ヘマセン又其内天氣モ晴レ渡リ秋ノ空ノ如ク澄ミテ清凉ヲ覺ヘ
 テ參リマシタカラ徒歩シナガラ此ノ調子デハ昨夜聞キシ危險地帯ハ如何ナラント聳ヘ立ツ斷崖絶壁ノ中ノ道路杯ヲ想像
 シテ早ク其處ニ達シテ見タキ好奇心ニ驅ラレテ居リマシタ所ガ豈圖ラムヤ何處迄行ツテモ兩岸ノ山ハ左ノミ峻嶮デナク
 山脚ニ道アリト云フモ少シモ人工ヲ加ヘズ岩石凸凹シ到底車杯ノ通リソウニナキ處ヲ遮ニ無二馬車ヲ引張リマスカラ車
 ハ將ニ轉覆セン許リニ一上一下乗ツテ居レハ洪水ガナクトモ命懸デナケレバ兎テモ行ケヌト感シマシタ漸クニシテ途ハ
 幅廣キ川中ヲ横斷シテ又山脚ニ沿ヒ進ミ再ヒ河中ニ入り雲崗ニ達シ遂ニ想像セシ如キ難所ハ經ズ餘リニ昨夜來ノ杞憂ノ
 馬鹿々々シカリシヲ悔ミマシタガ此ノ話シデ一體道路ガ人工ヲ加ヘズシテ如何ニ惡敷カハ想像ガ付クコトト存ジマス
 ソレカラ乗物ノ種類ヲ申シマスト前ニ申シマシタヤウナ蒲鋒馬車ト(寫眞第一參照)轎子ト申シマシテ鳥渡駕籠ノヤウニ
 ナツテ二人カ肩ノ上ニ擔イデ行ク物(寫眞第二參照)西洋ヨリ輸入シタちえあー(寫眞第三參照)ト又北京杯デハ洋式ノ馬
 車ヤ人力車ガ澤山アリマス數デ申セバ馬車ガ一萬人力車ガ三萬自動車ガ千六百許リアルサウデアリマス又濟南等テハ一
 輪車(寫眞第四第五參照)ガ盛ンニ行ハレテ居ルノヲ見マシタ而シテ北京ニハマダ市街鐵道ハアリマセヌガ不日米國ノ資
 本デ工事ニ著手スルト云フ話ヲ聞イテ參リマシタ上海天津ニハ電車ガアリマス漢江上海天津ノ居留地ヤ濟南等ノ商埠地
 ノ如ク外國人ノ多ク居リマス處ハ路面ニたゝる。ろどノ類ノモノヲ用キ上海ノ大法馬路(大キナ道路ヲ馬路ト申シテ
 アル様デス)カラ天皇橋迄半哩許ノ間ニとらっくれす・えれくとりっく・かー或ハとろりばす(無軌道電車)ガアリマス
 是ハ街ガ狭クテ電車ヲ通ズレバ他ノ往來ノ邪魔ニナルト云フノ融通ノキク此式ヲ採用シタモノデ此式ハ架空線二條ア
 ルノミニテ下ニハ軌條ガナキ故ニ左右ニ移動スルニハ自在デアリマスカペーぶめんとは完全ナル事ヲ要スル故ニ保存費
 ハ随分莫大ナル事ト思ハレマス實際ニ保修ハ完全ニナサレ一ツノ凸凹モ見出シマセンデシタ車ノ構造ハ只一方ニミ運
 轉臺ガアリマスノデ普通電車ノ様ニ進退スル事ハ出來マセン故ニ大法馬路ノ方ニハ街路ニ轉車臺ヲ設ケテ電車ヲ之レニ

載セテ轉向シ他端ノ天皇橋ノ方ハる一歩ヲ回轉シテ參リマス車ノ大サハ約五六十人乗位ト思ヒマス電車賃ハ區域制(ぞ
 ーん・しすてむ)ヲ用キ又二等級ニ分ツテ居リマス軌間ハ一めーとるノ様デアリマス電車ハ二輛連結デアリマシテ優等
 席ニハ頭等ト書イテアリ並等席ニハ大衆可坐穩快價廉ト記シテアリマス隨分ニ婉曲ニ言ヒ現ハシタモノニテ外人ニハ
 鳥渡判シ兼ネマス車モ等級ニヨリ塗色ヲ異ニシテアリマス

支那ハ運輸機關ガマダ頗ル不足シテ居リマス爲ニ自動車ヲ以テソレヲ補ハント色々ニ計畫サレテ居ルト聞キマシタ昨年
 山東省ガ不作デアリマシタ爲ニ日本ナドカラモ色々ト救助金ヲ醸出サレタヤウデアリマスガ亞米利加ノ赤十字社ハ約六
 百萬弗ヲ集メ是ヲ以テ約六百哩ノ自動車道築造工事ヲ山東省内ニ起シ窮民ヲ使役シテ衣食ノ資ヲ得セシメ一舉ニ貧民救
 助ト交通便利ノ目的ヲ達セント致々遣ツテ居ルトノ事デシタ併シ一部人士ノ内ニハ實際以上ニ飢饉ヲ吹聽シテ平時ニ在
 ツテハ利權獲得ニ困難ナル鐵道ノ路面ヲ造ツタノデハナイカト疑ハレテ居ルト云フ話モアリマス併ナガラ其ノ眞偽ハ私
 共ノ如キ極ク短時日ノ旅行者ニハ鳥渡判斷ガ出來ナイノデアリマス又タ蒙古方面ニハ鐵道ハ中々金ガ掛ツテ出來難イカ
 ラ自動車デ交通ノ便ヲ開カントノ話モ往々耳ニ致シタノデアリマス

道路ノ事ハ此ノ位ニ致シマシテ次ハ少シ水路殊ニ大運河ニ付テオ話申シマス支那ニ於テ最モ有名ナルモノハ大運河デア
 リマス此ノ大運河ハ南方浙江省杭州錢塘江西湖附近ノ地點ヨリ起リ江蘇山東ノ二省ヲ橫斷シ北方直隸省天津ニ至ル九百
 哩ノ延長ヲ有シ更ニ白河ヲ介シ百二十哩ヲ隔ツル通州ニ達シ之レヨリ十五哩ノ通糧河ト稱スル運河ニヨリ北京ニ連絡シ
 此ノ間總計千餘哩ヲ算スル事トナリマス而シテ是レ等ハ長キ年月ヲ經テ作ラレタルモノニテ杭州カラ鎮江ニ至ル間ノ二
 百哩ハ西曆六百五年カラ六百十八年ノ間即チ杭州ヲ都トセル南宋時代ニ造ラレタモノデアリマスソレカラ鎮江以北揚州
 ヲ經テ清江浦ニ至ル百三十哩ハ紀元前四八六年ニ作ラレ是ガ最モ古イノダサウデアリマス此ノ清江浦ハ西曆千八百五十
 二年前ノ黃河ノ河岸デアリマスカラ詰リ運河ハ兩大江ヲ連絡セシモノ、様ニ思ハレマス清江浦以北天津ニ至ル區間ハ
 元朝ノ初メ千二百六十年ヨリ千二百九十年マテノ開鑿ニカ、リ山東省内ニ入ルヤ韓莊附近ニテ津浦鐵道ヲ交叉致シマス

ガ是レヨリ東平ト云フ濟南ヲ南西ニ去ル約五十餘哩ノ處ニテ黄河ヲ横切ルノデアリマス韓莊東平間ハ土地波狀形ヲナシ凸凹ノ激敷處デアリマスカラ運河ハ諸所ニ水堰ヲ作り水位ヲ調節致シ又運河ノ水ハ汶河ヲ利用シテ供給シテ居ルト聞キマシタ黄河以北ハ衛河ノ河床ヲ利用シテ居リマス斯ル大運河モ前ニオ話シタ道路ト同ジ事デ永イ間修繕ヲシナイ上ニ鐵道開通後ハ一層之レニ壓倒サレタノデ漸次壞廢シテ通船ガ不可能ニナツテ來タノデアリマスソレデ交通部雇工師蘭人エッチ・ばん・でる・ヂューン氏(H. Van Der Veer)ノ報告ニ依リマスト水ノ多イ時ニ通航シ得ル部分ハ通州天津、天津臨清間ソレカラ航行ノ出來ナイ部分ハ臨清黄河間デアリマス又黄河ヲ超エテ揚子江迄並ニ揚子江ヨリ杭州ノ間ハ通航シ得ルノデアリマス馮水期ニハ通州天津間ハ僅ニ舟足ノ極メテ淺キ小舟ヲ辛フジテ通ズルニ過ギス天津臨清間ハ處々辛フジテ舟行シ得ルモ臨清黄河間及黄河ヨリ臺兒莊及窩灣ニ至ル半途ハ一小部ヲ除キ舟行不可能ニテ窩灣ヨリ清江浦ハヤウヤク舟行シ得又清江浦揚子江間モ殆ント航行不可能デアリマス反之揚子江杭州間ハ所々ニ舟行難ヲ感ズルモ大體ニ於テハ航行ニ差支アリマセン併シ吃水三四尺ノ船ヲ行ラウト思ヒマスト揚子江附近ノ外ハ不可能デ運河ノ效力ハ頗ル微弱ナモノデアリマス然シ乍ラ三千萬弗モ懸ケレバ全部ニ亘リ吃水六尺五百噸餘積ノ船舶ヲ通ズルニ適スルモノニ改修シ得ラルベク夫レガ六箇敷ケレバ千萬圓ニテモ驚クベキ改良ガ爲シ得ラルト云フ事デアリマス運河ノ水位ノ差アル處ニ設ケアル堰ハ角落ノ裏ニ土俵ヲ積ンダ位ノ程度ノモノデ(寫真第六參照)通糧河ノ北京城堡ノ眼下ニアル處ニモ此ノ種ノモノガアリマス此ノ處デハ船ハ積荷ヲ皆積ミ換ヘナケレバナラヌコトニナツテ居リマス日本デ考ヘルト積換ハ非常ニ困難デアリマスガ支那ハ人夫賃ガ廉イノデ此位ノ事ハ何デモナイ事ニナツテ居ル様ニ思ハレマスソレカラ是ハ揚子江ノ南部ニ於ケル運河ト南京杭州間鐵道ノ圖面デアリマスガ(附圖第一參照)之ヲ御覽ニナリマスト實ニ運河網ノ普及シテ居ルコトガ判リマス蘇州ノ如キハ城内ニモ運河ガ縱横ニ分布サレ道路ハ半圓形ノ大理石ノ拱橋ヲ以テ運河ヲ越テ居ルノデアリマス(寫真第七參照)夫レ故ニ車ハ通ラヌカラ止ムヲ得ズ轎子カ驢馬ヲ用キナケレバナラナイノデアリマス運河ノ模様ハ伊太利ノ^スに^スト^クク似テ居リマスガ^スに^スノ橋ハ色々ナ型式ノモノヲ採用シテ頗ル美觀ヲ呈シテ居リマスゲルトモ蘇

3200 哩		總延長
1700 哩	ぢやんく通航區域	
1300 哩	らんち通航區域	
1000 哩	汽船通航區域	

州ノ橋ハ何處モ彼處モ同ジ型デアアルノデ單調ナルヲ免レマセン外國共同租界ノ東端ニアル密渡橋(寫眞第八參照)ノ如キハ徑間六十呎以上ノ半圓拱ニテ其レヨリ左手ニ城壁ノ聳ユル外ハ一面ノ平野ナレハ橋上ノ眺望ハ頗ル廣濶デ壯快ナ心地ガ致シマス此ノ處カラ東南大運河ト滄臺湖ノ接スル處ニ寶帶橋ト號スル五十三ノ穹窿ヨリナル長大橋ガアルト申ス事デ是ヲ見ニ行カウト思ヒマシタガ時間ガ無イノデ引返スノ已ムナキニ至リマシテ残念ニ思ツテ居リマス杭州ト蘇州ハ支那ノ絶景トシテ賞セラレテ居ル處デアリマシテ上有天堂下有蘇杭トサヘ云ハレテ居リマスソツデス邦人ガ唐詩選デ膾炙スル寒山寺ノ如キモ蘇州郊外ノ一廢寺デアリマス(寫眞第二第七參照)

ソレカラ次ニ河デアリマスガ支那デ最モ交通ノ用ヲナシテ居リマスノハ楊子江デアリマス楊子江ハ長サガ三千二百哩流域面積七十萬方哩デ其ノ住民大約二億ト申スコトデアリマス支那ノ人口ハ四億ト稱シテキルノデアリマスカラソノ半分ハ楊子江流域ニ住居シテ居ルコトニナリマス戎克ノ通航スル哩程ハ本流ノミデモ千七百哩アリ内らんちノ通フ區域ハ千三百哩又其内蒸汽船ノ通フ部分ハ千哩トイフコトデアリマス此ノ河ハ私共モ漢口カラ南京迄約三百七十五哩ヲ乘ツテ下ツテ見マシタガ實ニ水量豊富デアリマシテ濁流濶々三哩ノ速度デ流レテ居ルト船員ハ申シテ居リマシタトテモカ、ル大河ハ我々日本人ニハ想像モ附キマセン漢口ヨリ下流ノ通航船ハ三千噸位デアリマシテ設備克ク更ニ動搖セザル上右岸ハ丘山起伏シ左岸ハ概シテ平地ナレドモ兩岸トモ風光變化ニ富ミ萬ノ絡メル古城草木ノ寄生スル塔等點ニシテ風雅ナル人工美ハウマク天然ニ調和シテ居リマシテ飽キヌ眺メデアリマス之ヲ塵埃多キ汽車旅行ニ比スレバ何トモ申サレヌ良キ心地デアリマス同江ノ定期船ハ日本支那佛蘭西英吉利ノ四會社ニヨリ經營セラレルト云フ事デアリマス武昌ヨリモ上流デハ渦水期ト出水期トノ水面ノ差ハ七八十尺ナル處ガアリマシテ大冶附近ニテモ

四五十尺ニ及ブト聞キマシタ斯ウ云フ譯デアリマスカラ運河ハ楊子江ト交叉シテ居ルト言ツテモ斯ク水面ノ高低激シク

テハ運河ハ直接河ト連絡スル事ハ不可能デアリマスカラ縁ハ全ク斷レテ居リマシテ荷物ノ積ミ換ヲナスノデアリマス長江通航ノ汽船ハ漢口九江安慶撫湖南京等ノ如キ大都市ニアリマシテハ江岸ニ繫留シテアリマス躉船ニ横付ニシテ直チニ乗客ノ乗降ヤ荷役ヲ致シマス又貨客ノ少ナキ港ニテハ舟ハ單ニ機關ノ運轉ヲ停止スルノミニテ碇泊致シマセシテ流レニ任セツ、舢舨ヲ本艇ニ横付トナシ荷役ヤ乗客ノ乗降ヲ致シマス躉船ト申シマスノハ寫眞第九ニ示ス如キ通常ノぼんつーんニ上屋ヤ倉庫ヲ設備シタルモノデアリマシテ陸上トハ小ナルぼんつーんヤ棧橋ニテ連結ヲ取ツテ居リマス又廢船ニ改造ヲ加ヘ水上ノ倉庫トシテ許多江岸ニ繫留使用シテ居リマス之ヲ *Wharf* ト申シテ居リマス

次ニ黄河デアリマスガ此河ハ其延長二千五百哩流域ハ六十萬方哩ニ及ビ其内ノ住民ハ一億ト申ス事デアリマスガ其下流ハ頗ル平坦ナル土地アル上ニ地質脆弱デアリマスカラ氾濫シテ水害ヲ惹起スル事屢ナルノミナラズ甚シキハ流身ガ數百哩ノ外ニ移動シ河口ハ或時ハ山東半島ノ南方ニ或時ハ北方勃海灣ニ移ツテ居リマス其變遷圖ヲ濟南ノ廣智院ト申シマス博物館デ見マシテ大變面白ク感ジマシタガ近頃其寫眞ヲ手ニ入レマシタカラ此處デ御目ニ掛ケル事ニ致シマス(附圖第二參照)斯クノ如ク楊子江ト黄河ハ竝稱セラル、支那ニ於ケル兩大江デアリマスガ黄河ノ水運ハ頗ル不便デ其輸送量ハ極ク少ク濟南ノ如キモ黄河ヲ利用シ居ルノハ上流ノミデ濟南カラ下ハ小清河ト云フ幅二十間ニ滿タヌ小河ガアツテソレニ依テ主ナル舟運ヲ爲シテ居ルト申スコトデアリマス小清河ノ方ハ一日ニ二百艘許リノ戎克ガ往復シテ居リマスケレドモ黄河ノ方ハ極ク少ナイト云フコトデアリマス

此ノ小清河ト云フノハ面白イ河デアリマシテ其名ノ示ス如ク黄河ハ泥水デ黄色ヲシテ居リマスガ小清河ハ清イ水デアリマス清河ノ源ハ濟南ノ名所ニナツテ居ル趵突泉ヲ始メ其他多數ノ湧出泉デアリマス此ノ河ニ依ル貨物ハ主ニ鹽材木デアリマス小清河ノ船溜ノ各岸ニ山東ト津浦鐵道ノ支線ヲ敷設シテアリマス(附圖第三、寫眞第十第十一參照)濟南ニ對スル黄河ノ河港ヲ濰口ト申シマシテ津浦鐵道本線路ノ架橋地點ノ直グ上流デ同線ノ支線アレドモ貨物ノ出入ハ微々タルモノノ様デアリマス

上海ハ揚子江ノ支流黃浦江ヲ溯ル事十三哩ノ處ニアル河港デアリマシテ埠頭ハ兩岸ニ木造又ハ鐵筋コンクリートノ橫棧橋ヲ出來テ居リマス而シテ埠頭ハ漸次河下ニ向テ延長サレテ止ル處ヲ知ラヌト云フ有様デアリマス併シテ上海ノ黃浦江改良局ハ位置上カラ申シマシテモ亦將來東洋ニ於ケル大吃水船ノ出入スル親港トシテノ資格ノ點カラ申シマシテモ上海ニ及ブ處ナシトノ見地カラ今秋世界ノ大技術家ヲ集メテ同港ノ築港設計ヲ爲スコトニナツテ日本カラ廣井博士英國カラ Frederick Palmer, formerly chief engineer of London Docks, etc. 米國カラ Major General W. M. Black, chief of eng. U. S. Army, retired. 蘭國カラ Olt. de Vries, formerly head of Public Works in Netherlands, India. 佛國カラ L. Perrier. Ing. en chef ponts et chaussées, formerly of Suez Canal 支那カラ(瑞典人) P. G. Hornell, consulting eng. in Stockholm 及 H. Von Hadenstam, chief eng. of Whanshoo Conservancy Board ヲ聘シテ委員會ヲ設ケマシタカラ近キ内ニ成案ヲ得ラルノ事ト信ジマス

次ニ鐵道ノ事ヲ極ク簡單ニオ話致シマシテ終リト致サウト思ヒマス鐵道ハ此ノ前土木學會誌ノ第六卷第四號ニ久保田工學士ノ御書キニナツタモノガ載ツテ居リマスシ又鐵道省デ發行シマシタ「支那ノ鐵道」ニ詳シイ事ガ書イテアリマスカラ一般ノ事ハ其ノ方ニ就テ御覽ヲ願フ事ニ致シマシテ私ハ斷片的ニ二三ノ事ヲ申上グルニ止メタイト思ヒマス大正八年度統計ニヨレバ支那ノ國有鐵道ノ延長ハ三千五百九十哩アリマシテ一哩ノ建設費ハ十三萬圓位ニナツテ居リマス機關車總數ハ七百餘輛收入ガ八千三百萬圓支出ガ三千八百五十萬圓許デアリマシテ差引四千四百五十萬圓許ノ收益ガアル豫定デアリマス此ノ四千四百五十萬圓カラ無論借款等ノ利子ヲ拂ハナケレバナライカラ純益テハアリマセヌガ兎ニ角營業費ハ日本ニ比ベマスト餘程廉クツイテ居リマスハ一ツハ給料ノ低廉ナル事ト一ツハ列車回數及車輛數ガ貨客數量ニ比シ著敷少ナク賃率モ相當ニ高キニ依ル事ト思ハレマス今日支兩國國有鐵道ノ大勢ヲ比較對照シマスレハ別表ノ如クデアリマス

哩 程 及 一 哩 當 面 積 及 住 民 數

日 本 (1918 年) 支 那 (1916 年)	哩 程		百 平 方 哩 = 對 於 線 路 哩 程	線 路 一 哩 = 對 於 住 民 數
	國 有 鐵 道	全 鐵 道		
	6,077.6	8,364	2.7	9,487
	3,405	5,092	0.14	53,760

完 成 哩 程 比 較

日 本 (開 業 1874 年) 支 那 (開 業 1883 年)	1880 年 75 哩	1889 年 542 哩 124 哩	1899 年 3,632 哩 401 哩	1910 年 5,130 哩 4,997 哩	最 近 8,364 哩 6,109 哩
--------------------------------------	----------------	--------------------------	----------------------------	------------------------------	---------------------------

千 九 百 十 九 年 (大 正 八 年) = 於 於 支 那 國 有 鐵 道 の 概 況 並 = 日 本 國 有 鐵 道 ト ノ 比 較

項 目	日 本	支 那	日 本 = 對 於 支 那 ノ 比 (百 分 率)
總 資 本 額	1,338,402,832 圓	485,110,154 弗	72.5
一 年 間 純 益	215,791 圓	130,589 弗	60.5
營 業 哩	6,202 哩	36,449,392 弗	57.9
營 業 收 入	309,931,914 圓	83,047,393 弗	26.8
營 業 費 用	202,816,752 圓	38,440,540 弗	19.0
乘 客 數	357,881,957 人	27,961,197 人	7.8
乘 客 哩	7,942,632,396 哩	2,170,000,000 哩	27.5
一 列 車 乘 車 人 員	200.8 人	212.0 人	120.5
一 人 平 均 乘 車 距 離	22.2 哩	54.0 哩	243.0
貨 物 噸 數	50,939,535 噸	21,391,678 噸	35.7
噸 哩	6,239,798,261 噸哩	2,317,861,125 噸哩	36.8
運 送 噸 哩 (一 日 = 哩)	2,304 噸	1,680 噸	59.9

一列車噸數	167 噸	270 噸	162.0
一噸平均運搬距離	105 哩	109 哩	104.0
一人收入一哩當	0.0173 圓	0.0188 弗	105.6
一噸一哩當	0.0208 圓	0.0230 弗	111.0
旅客列車哩	77,220,058 哩	6,456,970 哩	8.4
貨物列車哩	94,929,567 哩	8,888,330 哩	23.5
機關車走行哩	158,570 人	73,651 人	49.5
使用人數	3,120 輛	707 輛	22.7
機關車數	機關車總噸數	194,055 噸	

支那ノ國有鐵道ノ大部分ハ外國借款ニヨリ外人ノ手ニテ建設セラレ又營業モ外人ノ指導ニ待ツモノデアリマスガ唯一ツ京綏鐵道ハ支那ノ資本デ支那人ノ手ノミデ出來タモノダト云フノデ支那人ノ誇トスル處ダト聞テ居リマス本鐵道ハ北京カラ蒙古ノ綏遠迄行クモノデ唯今ハ北京カラ二百五十七哩ノ豐鎮迄行ツテ居リマス是ハ丁度萬里ノ長城ヲ越ヘテ蒙古ニ這入ツタ處デアリマスソレカラ先程オ話シ致シマシタ大同府ハ其ノ約五十哩許リ手前ニナリマス本線中南口青龍橋間約十一哩ハ溪谷相迫リ兩岸ニハ岩骨峻々タル山岳聳立シテ最モ峻險ナル處デ奥羽線福米間ニ類シ支那ニテ見タル最難工事ノ場所デアリマス夫レ故ニ最急勾配ハ三十分ノ一デアリマシテ隧道モ短キモノニツツアリマスシ又此線路ハ山腹ニ沿ヒさいどかっとテ蜿々トシテ上リ行キマスガ處々ニ村落散在シ駱駝ヤ馬ノ縱列ガ通行スル様ヤ又萬里ノ長城ヤ城門ヲ此處彼處ニ見マスカ如何ニモ支那ラシキ氣分ニナリマス又線路傍ノ法面ニハ石垣ト云フヨリハ寧口張石ト云フ部類ノモノニテ施工基面ノ上げらすとノ法尻迄ヲ防禦シテ居ル處モアリ又山側ニハ岩ノ墜チテ來ルノヲ防グ爲ニ大キナ石垣ヲ築造シテアル處モアリマス此線路ニテ珍敷モノハ Shay engine デアリマス同機關車ニハ直立シタル汽笛三箇アリテ之ガ運動ヲ可撓性縱水平軸ニ傳ヘ之ヲ齒車仕掛ニテ各働輪軸ニ傳達スルモノニテ汽笛ハ車輛ノ一方ニノミアリテ不對稱ニナツテ居リマス併ナガラ牽引力ガ餘リ強クナイト云フノデ此ノ頃ハ日本ト同ジクまれー・えんじんノ大キイノヲ用キテ百人乘

客車十臺位ヲ牽イテ居リマス青龍橋線ハ萬里ノ長城ヲ視ルノニ最モ都合ノ好イ所デアリマシテ長城見物ノ人ハ大概該驛ニテ下車シ八達嶺ヲ越ヘテ撥子車站ニ出デ再ビ汽車ニ乗ツテ歸リマス(寫真第十二參照)線路ハ青龍橋ヨリすいっちばくヲナシ八達嶺下三千五百八十支尺ノ隧道ヲ穿チテ嶺西ノ高原ニ出ルノデアリマス之レカラ先ハ高原デアリマシテ蒙古ノ荒涼タル氣分ヲ味フコトガ出來ルヤウニ思ハレマス

南口ニハ京綏鐵道ノ工場ガアリマスノデソレヲ視マシタガ是ハ僅カ百臺許ノ機關車ヤ其他ノ車輛ノ修繕工場デアリマシテ大キナ工場トハ言ヘマセヌガ却々ヨク整頓シテ居リマシテ支那ニモコンナ整頓シタ工場ガアルカト思フ位デアリマス併ナガラ機械ナドハソソナニ澤山ハアリマセヌ此線ノ機關車ハ多ク三井ノ手ヲ經テ米國カラ這入ツテキルサウデ今度ノ入札モ三井ノ手ニ落チタト云フコトニ聞イテ居リマス

次ニ京漢線ハ北京カラ漢口ニ行ク線デアリマシテ極ク平坦ナ線路デアリマスカラ別ニ何等工事上ニハオ話スルヤウナコトモアリマセヌガ線路延長ハ七百五十七哩デアリマス支那國有鐵道ノ軌條ハ漢口ノ漢冶萍鐵廠製八十五封度れゝるヲ用ヒテ居リマス又監査用展望車カラ十幾哩ト續ク直線ノ線路兩側ニ植エラレタ柳ノ並木ガ後へ後へト繰リ出サレテ行ク光景ヲ見マスト實ニ愉快ヲ覺エルノデアリマスガ斯ル並木ヲ植エル可否ハ日本デハ疑問ニナツテ居リマスガ支那デハ柳ヲ植エルノハ御承知ノ通り強キ光線ガ列車ノ外部ヲ直射シテ焼付ケルノヲ妨ゲ乗客ニ對シ苦熱ノ幾分ナリトモ和ゲル效能ガアラウカト私ハ考ヘタノデアリマス

ソレカラ本線ノ中ニハ近頃競争入札ニ附セラレタ有名ナル黃河ノ橋梁ガアリマス是ハ延長約二哩アリマシテ十五年間ノ保存期限ニ達シタト云フノデ廣ク世界各國ヨリ懸賞設計ト工事受負見積ヲ募ツタノデアリマスガ日本カラモ菅原恒覽君ノ代表セラル、モノト南滿ノ東亞土木企業株式會社カラトノ二通ノ設計ガ應募セラレマシタ英米佛白支等カラモ提出サレ應募總數ハ二十一會社ニ達シタサウデスガ米國ノ二會社及英國ノ一會社ハ條件ニ牴觸セル點アリテ受付ケラレザリシ爲メ十八會社ノ設計四十五種ヲ審査スル事トナリマシタ蓋シ獨逸ノ會社ノ如キハ一會社ニテ十二種ノ設計ヲ提出シ又其

他一會社ニテ三乃至六種ノ設計ヲ提出セシモノ多クツタナウデズ審査委員會ノ組織ハ會長愈人鳳(京漢鐵路局長)副會長
 華南圭(同上技師長)書記長孫文耀(路政司工考科長)及審査員日本鐵道技師大村卓一氏英國 H. Wilmer 佛國 M. A. Mege-
 nager 米國 J. A. L. Waddell 日國 M. L. Dehian 支那王壽祺ノ六名カラナツテ居リマシタ審査ヲ始メルニ當リ豫備條
 項ヲ決定シ先ヅ是レニテ豫撰ヲ行ヒマシタガ菅原君ノ設計ハ見積價格最高限度ヲ超過セシ爲メ先ヅ落撰シ東亞企業ノ分
 ハ見積價格ハ餘程安カツタノデアリマスガ設計ニ計算書ガ附屬シテ居ナカツタノデ是レモ落撰シマシテ白耳義ノ會社ガ
 一等佛蘭西ノ會社ガ二三等ニ當撰シタノハ誠ニ遺憾ニ存ジマス今回ノ懸賞條件ト申シマスト一等ハ工事ヲ受負ヒ二等ハ
 八萬元三等ハ二萬五千元四等ハ一萬五千元ノ賞金ヲ貰フコトニナツテ居リマシタ日本委員ヲ除ク外國委員ハ多少修正ヲ
 加ヘシムル事ト工費ノ割引ヲナサシムル條件ニテ一等當撰ノ白耳義會社ニ受負ヲ命ズルコトニ協議ヲ纏メ會長ニ報告書
 ヲ提出シタノデアリマスガ大村委員ハ之ニ反對ノ少數意見ヲ提出シタノデアリマス其理由ハ順位ニハ異存ナケレドモ當
 撰ノモノトテモ工事ヲ受負ハスル程ニ設計ガ完全デナイト云フテ其ノ缺點ヲスツカリ舉ゲ寧ロ新タニ完全ナル設計ヲ募
 ル可ク又ハ交通部自身ニ外國顧問ノ指導ノ下ニ完全ナル設計ヲナシ之レヲ競争入札ニ附シタナラバ三百萬元位低廉ニ出
 來ル故支那ノ利益ニ鑑ミ白耳義ノ當撰設計ニハ八萬弗ノ賞金ヲ與ヘ漸次繰リ下ケルヲ至當トスト論シタノデアリマスわ
 ける氏ハ四人連名シタル報告書ノ解釋ニ他ノ三名ノ委員ト差異アリシトテ中途署名取り消シヲ申シ入レ大村氏ト共同ニ
 テ少數意見書ヲ提出シマシタガ其ノ趣旨ハ大村氏ノ前記ノモノト略等シキモノデアリマス是ニ於キマシテ非常ナ紛議ヲ
 醸シマシテ他ノ三委員ハわける氏ニ對シテ一ノ覺書ヲ送り背信ヲ責メ且附記シテ卿ノ米國ニアルノ日今回ノ競争設計ヲ
 計畫シテ居リナガラ審査員タル事ヲ諾スル杯ハ以テノ外デアルト人身攻撃ヲ始メタノデアリマス其處デわける氏ハ非常
 ニ怒リマシテ他ノ三委員ノ承諾ヲ求メテ反駁書ヲ新聞紙上ニ公表シタノデアリマス其ノ要旨ハ三氏ハ自分ヲ攻撃スルケ
 レドモ自分ヨリモ卿等コソ怪シカランデヤナイカ是迄自分ノ審査員タルノ資格ニ就テ云爲シナイデ今ニナリテ技術上ノ
 點ニ於テ反駁ヲナサズシテ却テ人身攻撃ヲナストハ何事ゾ哉自分ノ關係シタル設計ハ初メヨリ不備ノ點アリテ拒絕セラ

レタルモ縦へ若シ審査ニ上リタリトスルモ其設計審査ノ時ニハ事情ヲ打明ケ自分ハ棄權シ可否ノ數ニ加ハラサル考ナリシ此他東亞土木企業株式會社ノ提出セシ設計ハ自分ノ嘗テ設計セシモノ其儘ナリシ爲メ自分ハ之ガ不合格ニ反對セリト云フモ是レ亦現存セル橋梁タリトモ設計ノ優秀ニシテ適當ナルモノアラシカ之ヲ採擇スルニ憚ル處ナカラシ事理明白ナル事ニ對シ人身攻撃ヲナス如キ下劣ナル人々ト議事ヲ共ニスルヲ欲セスト云フ如キモノデアリマシタス紛議ノ裡ニ何等決定ニ至ラズシテ委員會ハ閉セラレマシタト聞イテ居リマス英國顧問ノウ。る。ヌー氏ハ年七十ナルモ矍鑠壯者ヲ凌グノ概アリト申ス事デアリマス

今御參考迄ニ當撰セシ分及日本ノ提出ノ分ノ設計ノ概略及入撰會社名入札價額等ヲ示セバ別紙附圖第四及次表ノ如クデアリマス

I. Société D'étude et de Construction (Bruxelles)

橋脚ハ井筒工 橋臺杭打こんぐりーと工 根入 低水面下
橋臺 10.35^m
橋脚 30^m

Pratt truss & plate girders 40 @ 67.5 + 2 @ 12.192^m

入札價格 \$10,881,297

II. Compagnie General D'extreme Orient

鐵筋こんぐりーと杭ヲ用キ其周圍ヲ低水面下十一米迄鐵筋こんぐりーとノ井筒ヲ以テ被覆ス根入 低水面下 28.95^m

Simple truss with parabolic top chord 35 @ 79.0^m

入札價格 \$10,490,981

III. Etablissement Erassard & Mopin

橋脚ハ四箇ノ鐵筒ヨリナリ施工ハ Open or Pneumatic excavation ヲ用ユ 根入 低水面下 40.45^m ~ 32.95^m

Simple Pratt truss 30 @ 76.2^m

入札價格 \$10,846,682

參考

IV. 菅原恒覽

橋臺橋脚井筒 Open excavation 根入 低水面下 橋臺 26.21^m

Pratt truss with curved top chord 37 @ 74.321 橋脚 31.68

入札價格 \$14,972,229

V. 東亞土木企業株式會社

橋臺橋脚共井筒 根入 低水面下 北橋臺 29.71^m 南橋臺 19.61^m
橋脚 29.71^m

Pratt truss with curved top chord 34 @ 81.9^m

入札價格 \$9,736,338

要之ニ黄河ノ特徴ハ河幅廣ク流身移動シ一定セザル事橋脚ノ周圍ハ洪水毎ニ洗掘セラレ記録ニ存スル最深ノ洗掘ハ三十
三尺ニ及ベル事等デ工事上特ニ考慮ヲ要スル事少ナケレバ大抵ノ設計ハ簡單ナル同一型ノ構桁ヲ用キ流身ト洪水敷トノ
差別ヲ設ケス橋脚ノ根入ヲ適當ニ撰ミ工費ノ節約ヲ計リタルモノカ最モ經濟的デ又合理的タルハ明瞭デアリマスガ多數
ノ中ニハ随分飛離レテ地質ヤ根入ニ餘リ考慮セズ連續桁トカ鐵筋こんくりーと拱等ヲ設計セシモアリマシタサウ
ラスガ是等ハ豫備審査ニ於テ直チニ落撰シタト云フ事デアリマス

支那デハ一部鐵道ヲ除クノ外跨線橋ニハ階段ノ代リニ五分ノ一位ノ勾配ヲ用キテ居リマス又鐵筋こんくりーとヲ諸種ノ
工事ニ用キテ居ルノヲ見マス(寫眞第十三、第十四、第十五、第十六參照)又支那ノ鐵道デ非常ニ困ツテ居ルノハ軍人ノ跋

屬ニテ例ヘバ軍人ハ皆無賃デ乗車スルノミナラズ其家族達モ無賃デ引連レ優等ノ坐席ヲ占領シ尙坐席ナケレバ食堂車ノ食卓ヲ寢臺トシテ横臥スル杯傍若無人ノ振舞ヲナシ私共モ二三度食堂ニテ此ノ様ヲ目撃シテ實ニ不快ニ感シマシタスル無法ノ振舞ニ對シ鐵道當局ノ取締リハ行届カヌト云フ譯デアリマスカラ遂ニ急行列車ニハ無賃乗車券ヲ持ツタ者ハ何人ト雖モ一切乗セヌト云フコトニシテ急行列車丈ケニハ厄排ヒヲシテ居ルヤウナ有様デアリマス夫レ故ニ外來ノ優遇スベキ客ニ對シテモ急行乗車券ハ發行スル事ガ出來ズ當局者ハ餘程窮スル場合ガアルト云フ事デス

我々カラ見ルト不思議ニ感ズルノハ貨車ノ屋根ノ上ヤ無蓋貨車ノ雨覆ヒノ上ニ許多ノ人ガ炎天ニ傘ヲ鑿シテ煙ヲ蒙リッガラ平然乗ツテ居ル事デアリマス(寫真第十七參照)夫レデ是ハ何カト尋ネマシタレバ荷物ヲ盜マレヌタメ荷主ニ番人ヲ附ケル事ヲ許シテアルノダト云フ事デス亦立ン坊ヤ苦力ガ盛ニてっさノ上ヤ貨車ノ屋根ニ黙ツテ飛乘リヲシテ只乘リヲ極メ込ムノガ澤山アリマス此ノ邊ハ我々ノ目カラ見ルト如何ニモ不思議ニ感ジラレルノデアリマス

時刻表ハ二十四時間制ヲ用キテ居リマス列車回數ハ如何ニト申シマスニ支那ノヤウナ大キナ國デ鐵道ノ密度ガ稀薄デアリマスカラ運輸數量ハ多量ナル筈ナルニ津浦京漢等ノ主要線ニ於テスラ旅客列車ハ二往復乃至三往復デ乘リ遅レルト一日待タナケレバナラヌ有様デアリマシテ非常ニ不便デアリマス運輸數量モ多ク收益ノアルニ拘ラズ斯クモ列車回數ノ少ナキハ資金ノ關係上車輛ノ増備ヲナス能ハザルニヨルモノ、様デス比較表ニ見ヘマス通り日本國有鐵道ハ六千二百哩餘ニ對シテ三千二百二十餘輛ノ機關車ヲ有スルニ支那ハ三千六百ニ哩對シ七百七輛ト云フ割合デアリマス

以上申述ヘタル如ク支那ノ運輸機關ハ何レノ方面ニモ頗ル不備ニテ物資ノ供給容易ナラズ又天然富源ノ開發及生産力ノ増進等ニ關シテハ殆ンド顧ミラレザルノ觀ガアリマス併シテ是レガ開發改良ヲ促シ支那ノ福利増進ヲ助クルハ古來ヨリ善隣ノ誼アル我邦人ノ辭ス可カラザル義務ナリト信シマスガ故ニ邦人ノ一層意ヲ支那ニ用キラレン事ヲ希望スルノ餘リ冗長ナル取留メモナキ話ニテ清聽ヲ煩ハシマシタルヲ感謝致シマス(拍手)

右講演後左ノ質問應答アリタリ

○會長原田貞介君

御質問デモアリマシタナラバ御答ヘヲ願フコトニ致シマセウ

○石黒五十二君

先刻御話ノアリマシタ明ノ十三陵ニ就テ私カ四ツバカリ滑稽ナ事ヲ實驗シタ事ガアリマスカラソレヲ申上ゲマス支那ノ南口ニ支那人ガ經營ヲ致シテ居リマスル西洋式ノぼてるニ泊リマシテ翌日支那語ノ能ク話セル白岩君ガ通譯ヲサレテ私等ノ一行五人カ六人カデ出掛ケマシタ其時ニ私ガ滑稽千萬ナ事ニ會ツタ南口カラ約一哩許行クト廣イ河ガアリマシテ南口カラ下ルノハ斜面デアリマシテ傾斜ガ急ニナツテキルト云フノデ驢馬ニ乗ツテ行クコトニ致シマシテぼてるノ支配人ニ頼ンデ驢馬ニ乘リマシタ其ノ際一行ノ中デ誰カ一番高官デアルト訊イタモノト見エル私ガオ頭分デアルト云フノデ眞先ニ私ノトコロヘ驢馬ヲ持ツテ來テ私ガ先ニ立ツテ七八人ノ一行ガ之ニ續イテ出掛ケマシタスルト道路ノナイ處ハ畑ニ這入ル私ハ何方ニ行ツテ宜イカ知レマセヌソレデ驢馬追ヒニ通譯ヲ以テ道路ハ何處ヲドウ行ツタラ宜イカ案内シテ呉レト申シマシタ所ガ驢馬追ヒノ答ヘガ面白イ驢馬ノ方ガ人間ヨリ路ヲヨク知ツテ居ル驢馬ノ行ク儘ニシナサイ(笑)ト言フ是ガ一ツツレカラ河ノアル處ニ行ツタ所ガ私ガ此ノ河ハ何處カラ出テ何處ヘ流レルカト訊イタ所ガ驢馬追ヒガ眞面目ニ答ヘテ曰ク——其ノ通譯ノ話ニ依ルト此ノ河ハ上流カラ下流ニ流レル(笑)ト答ヘタ是ガ二ツツレカラ今度ハ明ノ十三陵ニ行キマシテ先ヅ申サバーノ鳥居トモ申スベキ處ニ行ツタ時ニ御承知ノ通り立派ナあーちノ橋ガ壞ハレテ居ルソレカラ向フ二哩モアリマセウカ然ルニ其ノ路ガ非常ニ壞ハレテ居リマスカラ是ハ惜イモノダ何故修繕ヲシナイカト言ツタ所ガ古人ノ爲シタ仕事ニ手ヲ着ケルト不敬ニ當ル夫故ニ荒廢ニ委シテ居リマス(笑)ト言フ是モ一ツツレカラ明ノ十三陵ニ參リツキマスト立派ナ瓦デ葺イタ門ガアリマシテ其處ニ行クト渡リヲツケテ金ヲ呉レナイト門ヲ開ケヌト言フカラ金ヲヤツテ門ヲ開ケサセタ全ク金ノ世ノ中デアアル乃デ瓦ノ半分此ノ位(兩手ニテ徑一尺二三寸ノ形ヲ示ス)ノセメテ半分位持ツテ歸ラウト思ヒマシテ其ノ事ヲ通譯ヲシテ願ツタ所ガ看守ハ却々承知致シマセヌ決シテ持ツテ行クコトハナラヌ併シ番人兼店ノヤツニ二圓カ三圓許リ寄附スレバ適當ナ方法ヲ執ラウ(笑)ト云フ譯デアリマシタ此ノ四ツツノ滑稽ナ事ガ私ノ明ノ十三陵ニ參リマシタ時ノ記憶ニ遺ツテ居リマシタガ故

ニ唯今皆サンニ鳥渡オ話申上ゲマシタ何カサウ云フ事ハナカツタデスカ(笑)

○會長原田貞介君挨拶 大分遅クナリマシタカラ鳥渡御挨拶ヲ致シタイト思ヒマス支那ニ付テハ無論是カラ日本ノ經

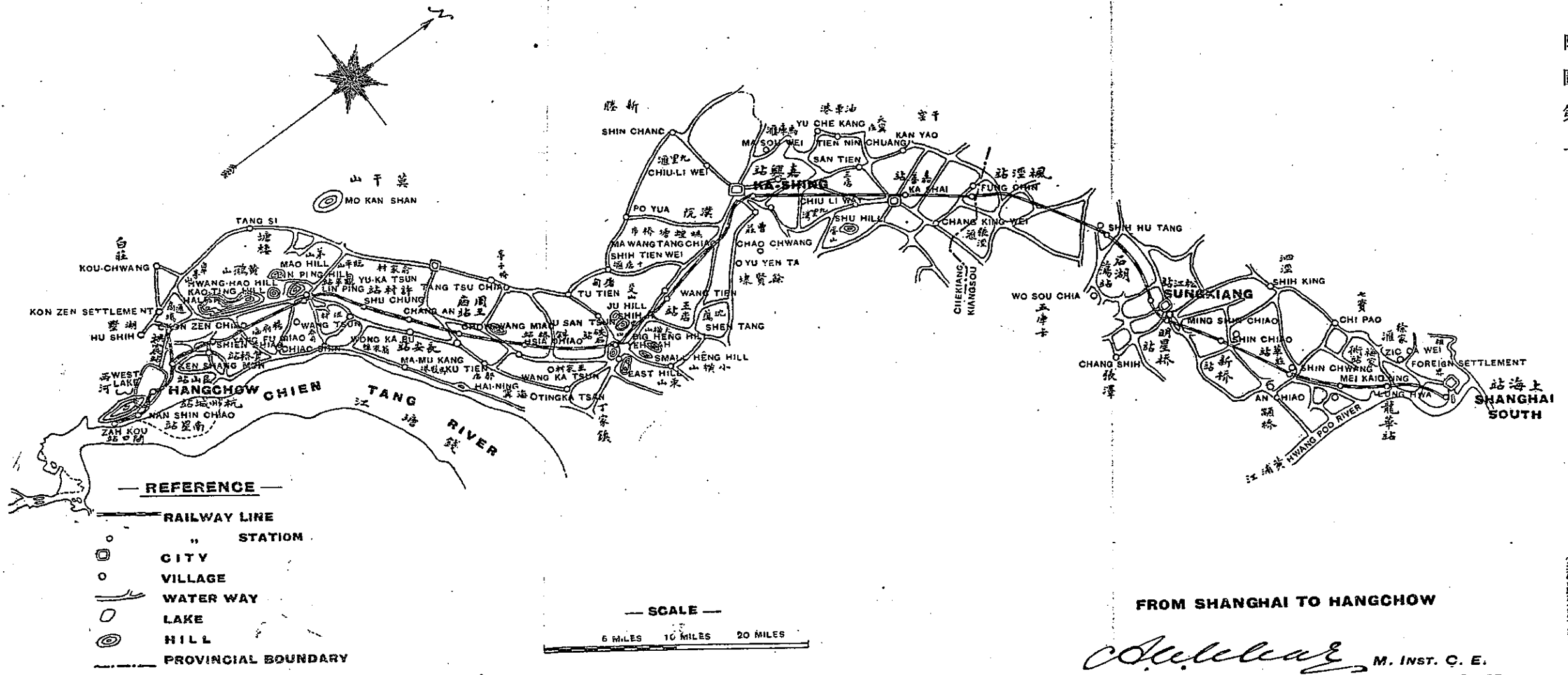
濟的ニモ學術的ニモ發展シナケレバナラヌノデアリマスルガ此ノ支那ニ就テ肩ノ凝ラヌヤウニ面白クオ話シ下サツタ

ヤウナ次第デ洵ニ有益ナオ話ヲ面白ク拜聽シマシテ有難ウゴザイマス一同ニ代リマシテ御禮ヲ申上ゲマス(拍手)

(完)

1086-1

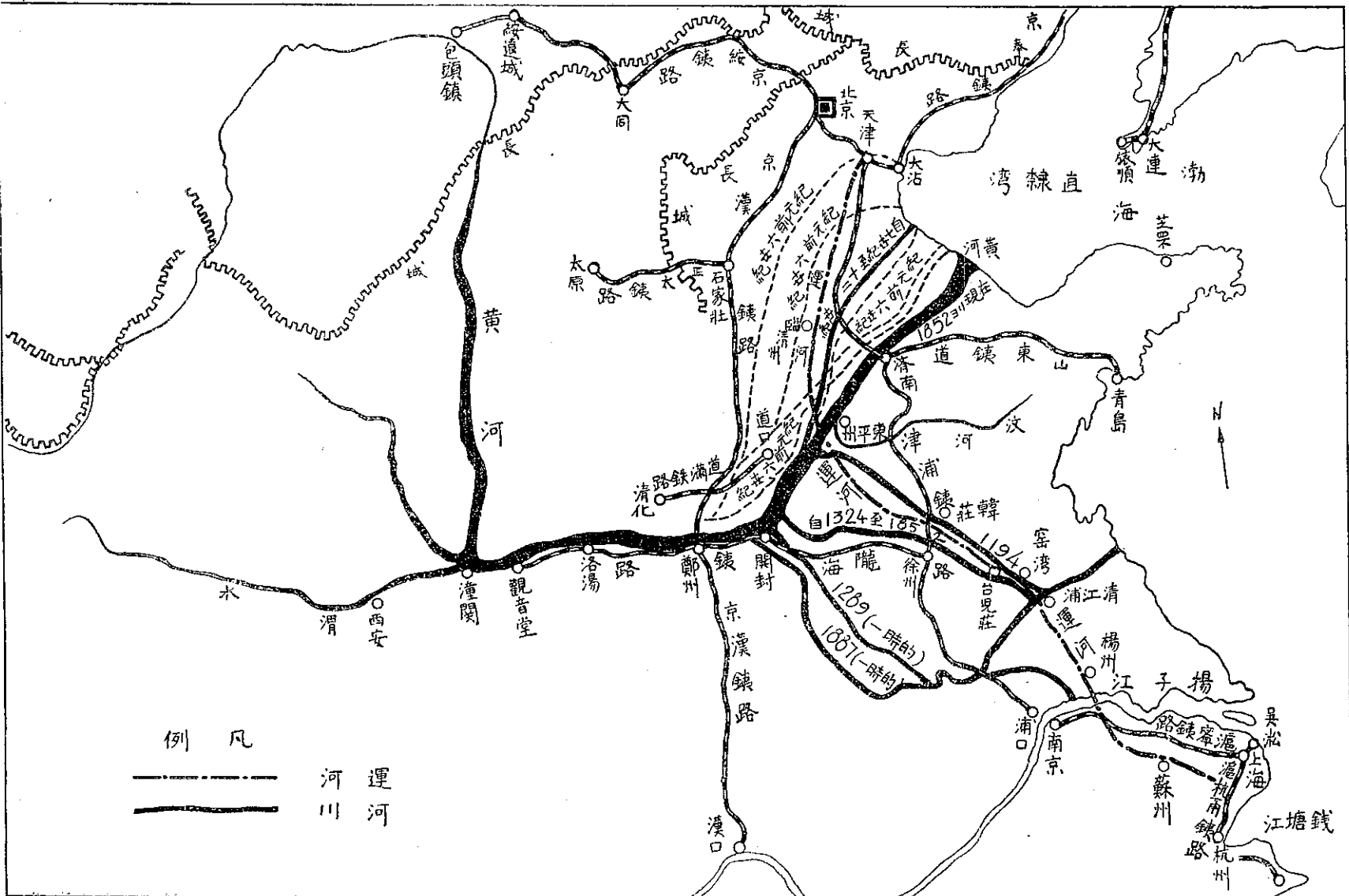
附圖第一



（此圖係根據最新地圖繪製）

黃河流路變遷圖

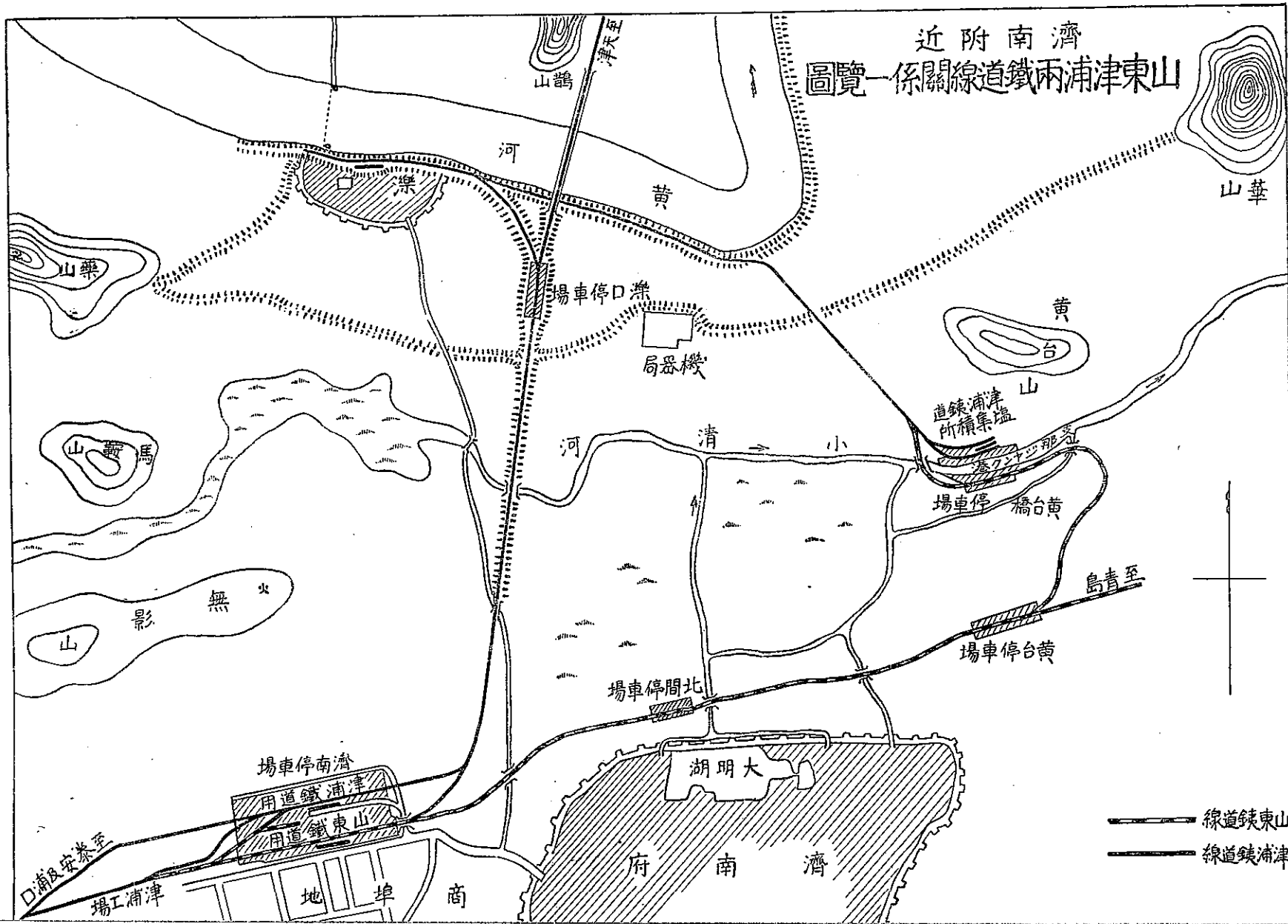
附圖第二



(土木學會誌第七卷第六號附圖)

10863

濟南附近 山東津浦兩鐵道線關係圖覽



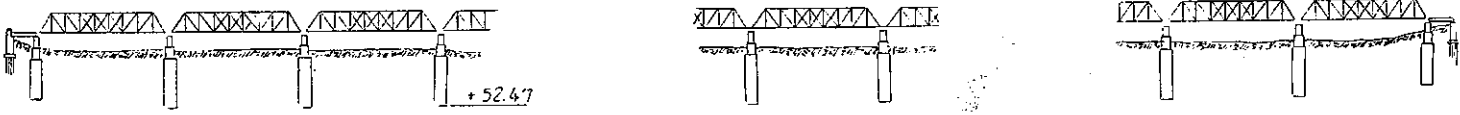
——線道嶺東山
 ——線道嶺津浦

(土木學會誌第七卷附圖)

PROPOSED NEW YELLOW RIVER BRIDGE COMPETITIVE DESIGNS.
PEKING-HANKOW RY.

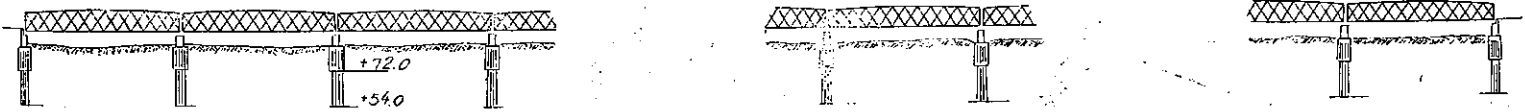
附圖第四

Total length 2784.4 (40 @ 67.5 + 2 @ 12.192) Trusses c to c 5.65



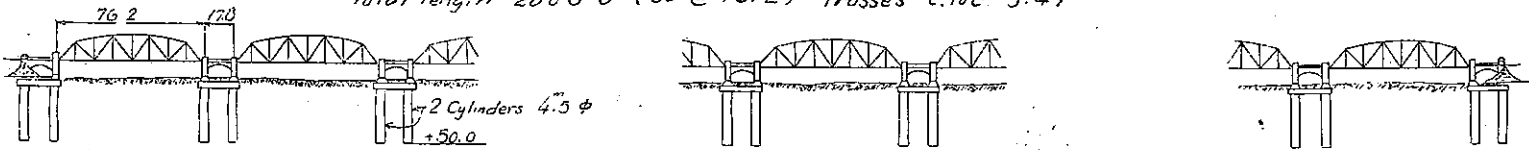
Société d'Étude et Construction (Bruxelles)

Total length 2800m (35 @ 79.0) Trusses c to c 5.8



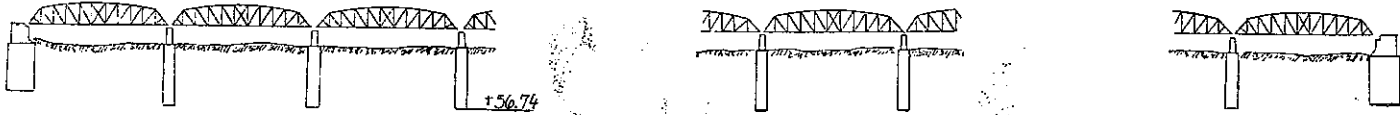
Compagnie General d'Extrême Orient (France)

Total length 2803.0 (30 @ 76.2) Trusses c to c 5.49



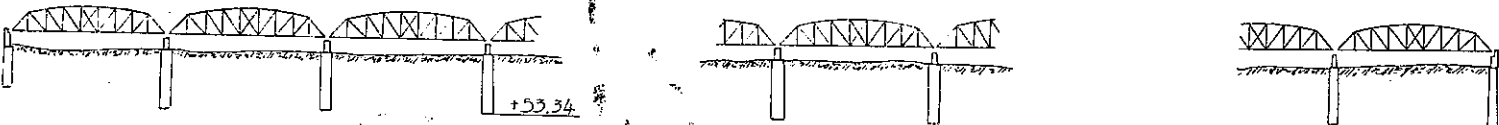
Établissement Brassard et Mopin. (France)

Total length 2800m (37 Spans @ 74.321) Trusses c to c 5.639



菅原恒寛 (東京)

Total length 2822.4 (34 @ 81.9) Trusses c to c 5.7



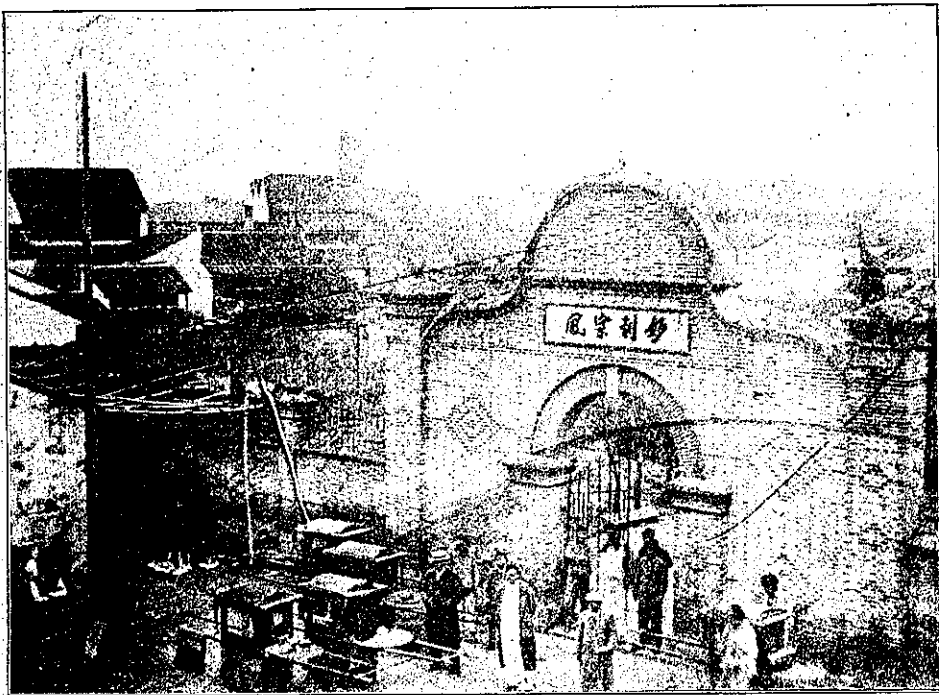
東亜土木企業株式會社 (大連)

(土木學會誌第七卷第六號附圖)

4-2801



〔寫眞第一〕 大同府停車場ニ於ケル滿鋒馬車



〔寫眞第二〕 蘇州寒山寺門前ニ於ケル轎子

（主殿會廳第七卷六附圖）

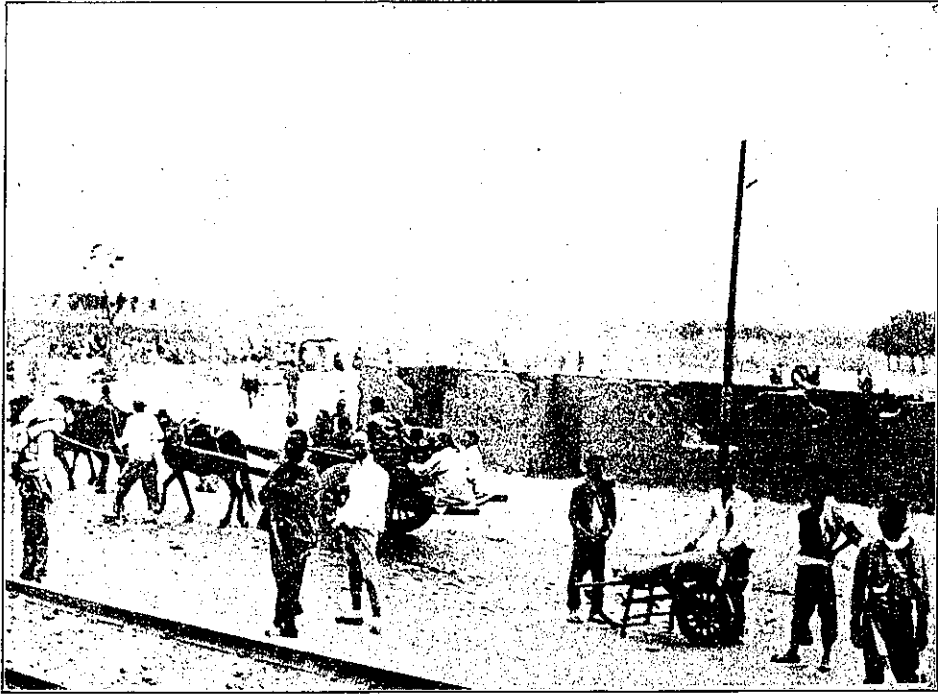


〔寫眞第三〕 杭州ニ於ケルちえあ

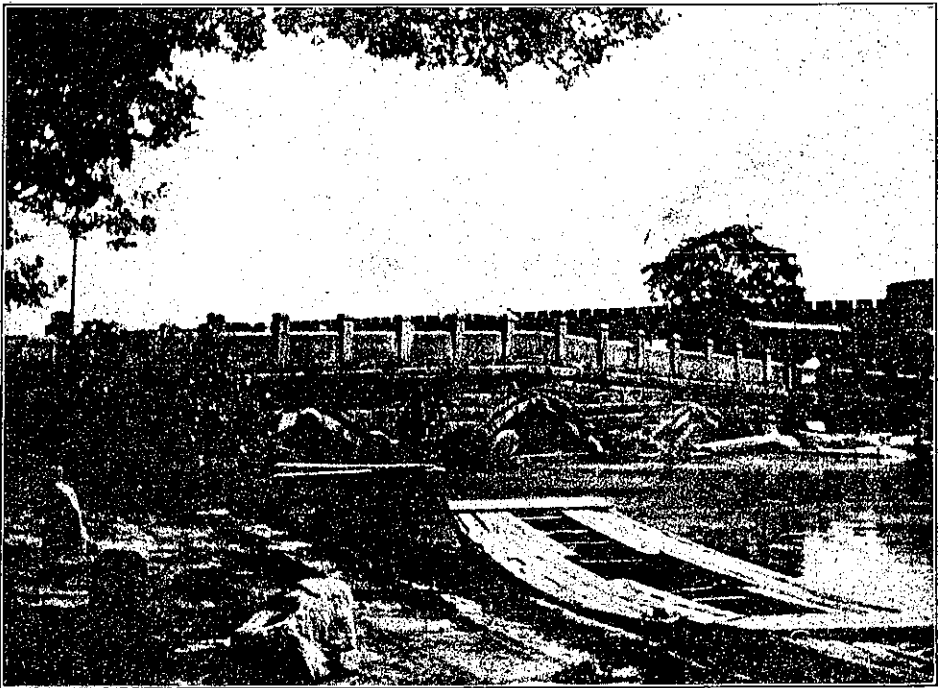


〔寫眞第四〕 一輪車ノ圖

Copyrighted material

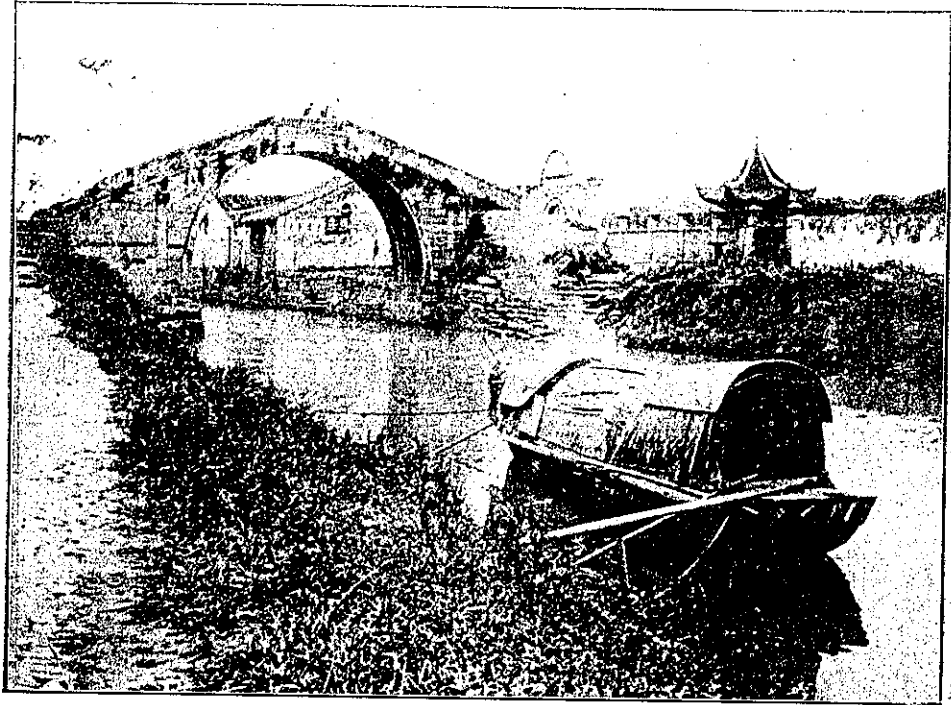


〔寫眞第五〕 停車場ニ於ケル一輪車並ニ荷馬車

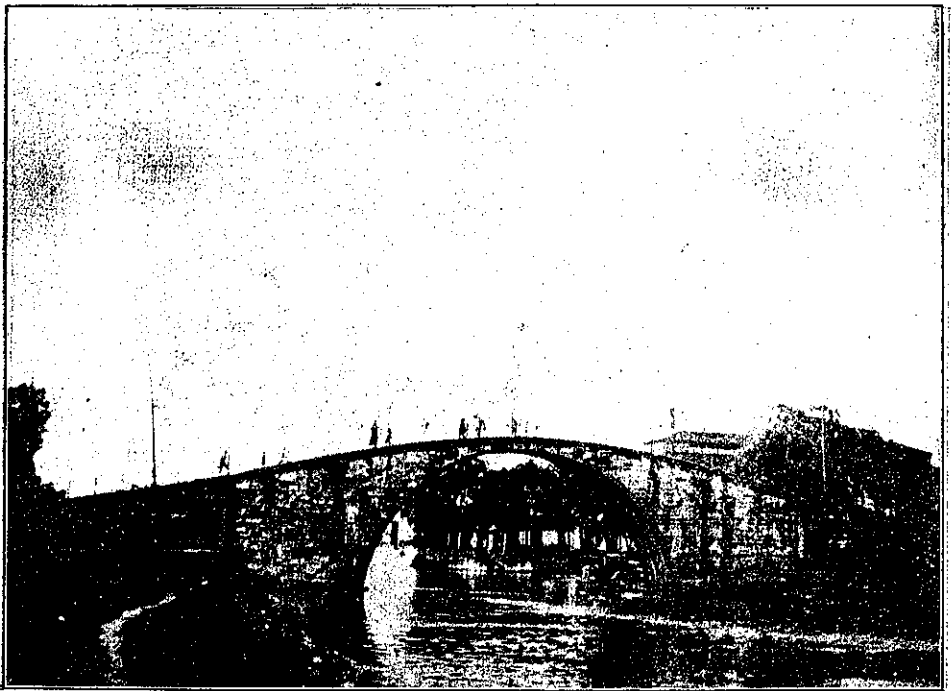


〔寫眞第六〕 運河ニ於ケル堰

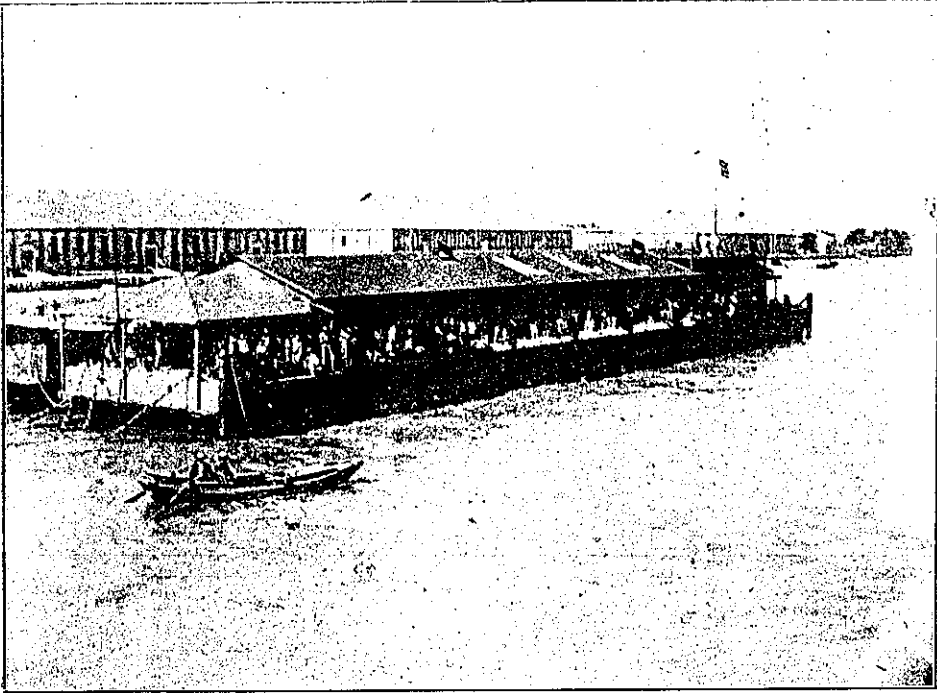
〔土木學會誌第七卷第六號附圖〕



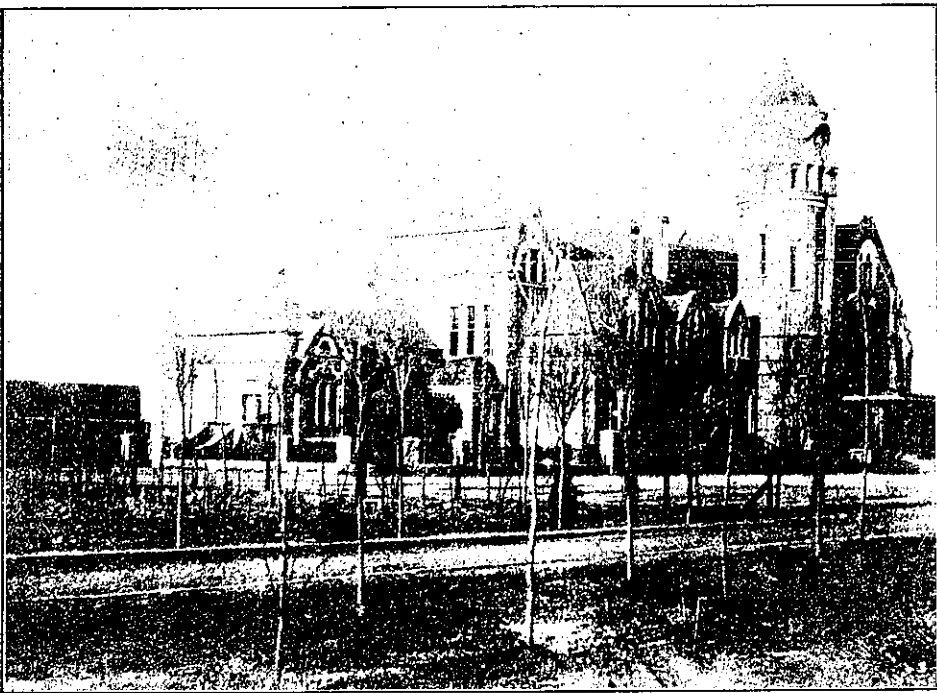
〔寫真第七〕 蘇州寒山寺門前運河ニ架スル石工橋並ニちんく



〔寫真第八〕 蘇州大運河ニ架スル密渡橋

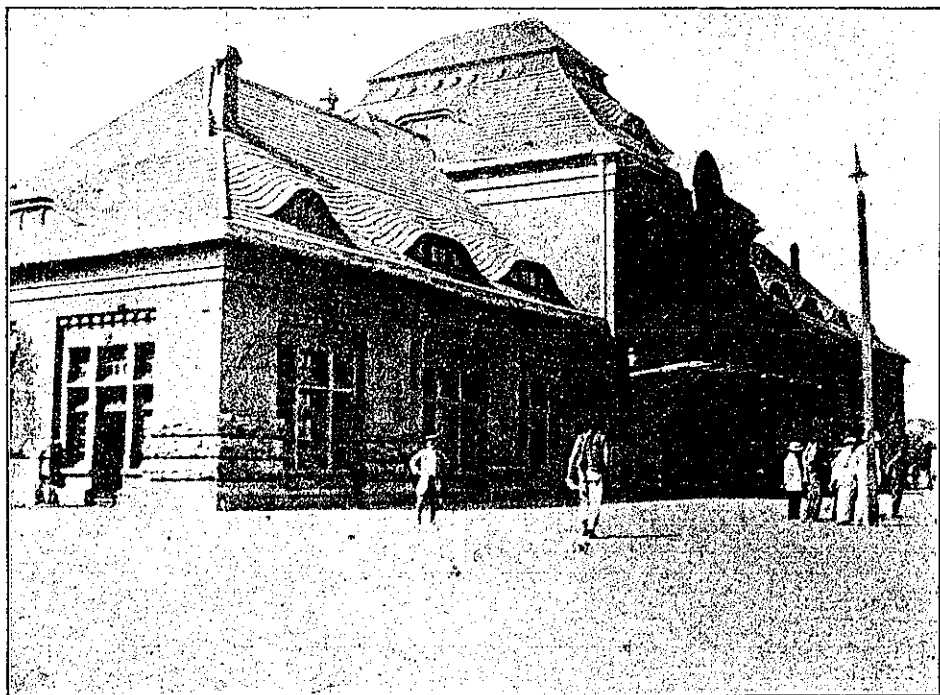


〔寫眞第九〕 長江沿岸九江ニ於ケル蘆船

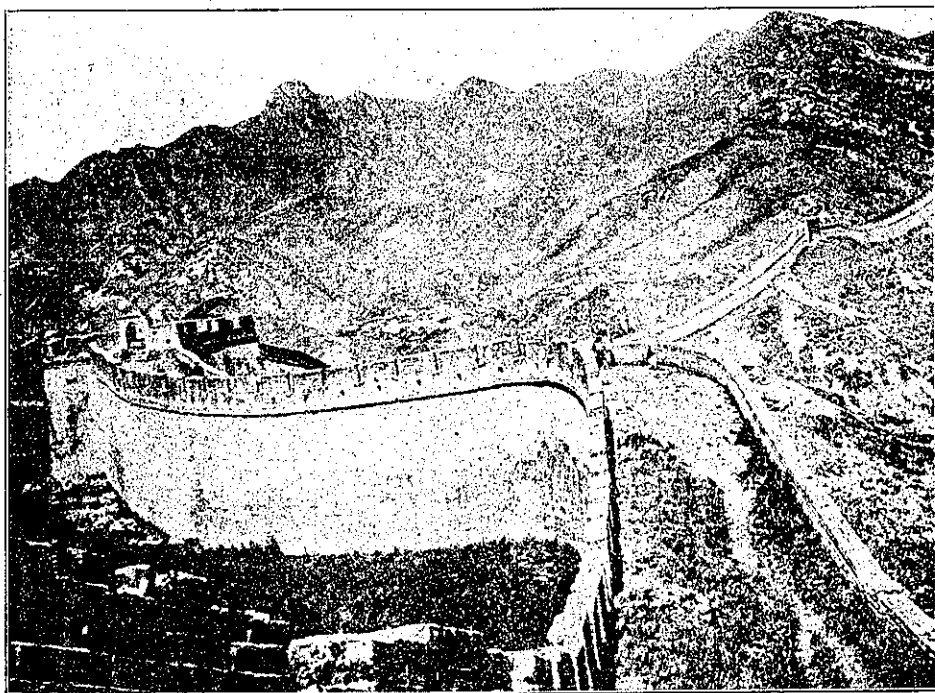


〔寫眞第十〕 濟南津浦停車場

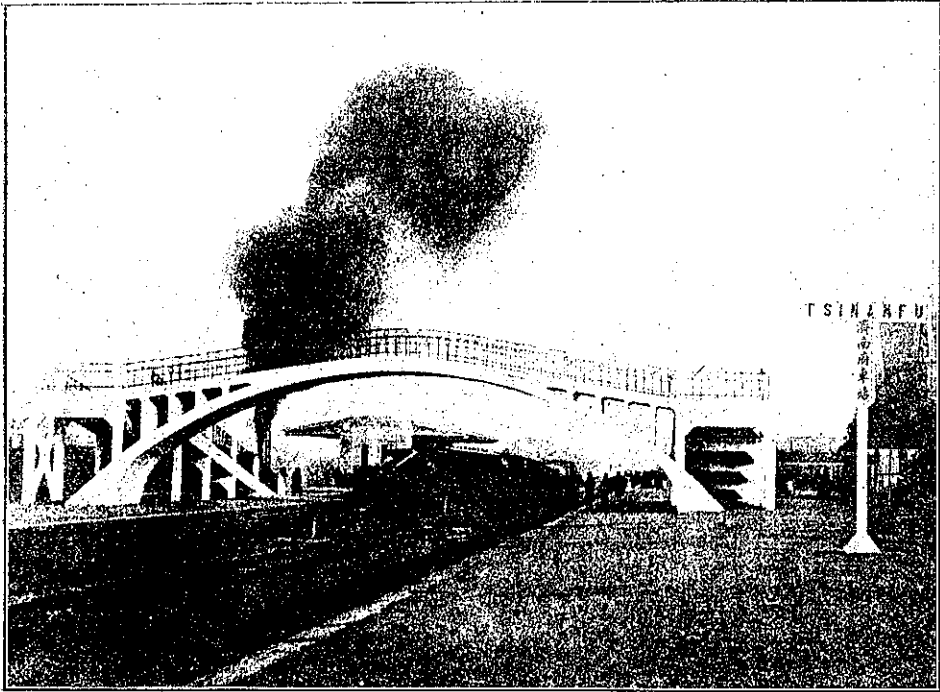
（本報會館第七卷第六號附圖）



〔寫真第十一〕 濟南山東鐵道停車場



〔寫真第十二〕 萬里之長城



〔寫真第十三〕 津浦線濟南停車場ノガード

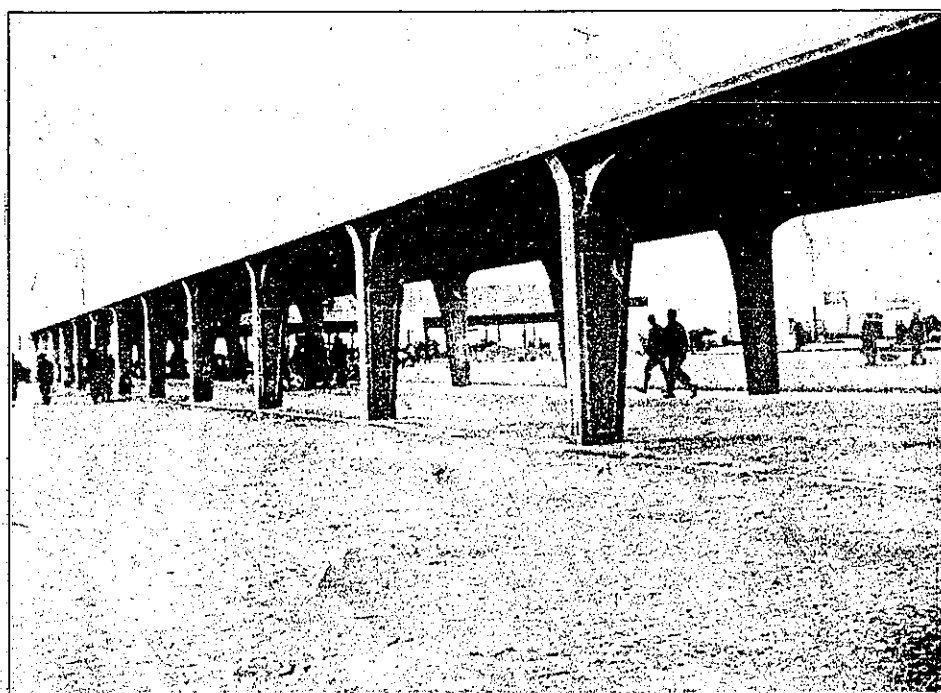


〔寫真第十四〕 津浦線濟南驛ほむ待合室

(上松會館第七卷第六號附圖)



〔寫真第十五〕 津浦線濟南停車場跨線橋



〔寫真第十六〕 浦口(津浦線)停車場及埠頭連絡上屋

1-86-1

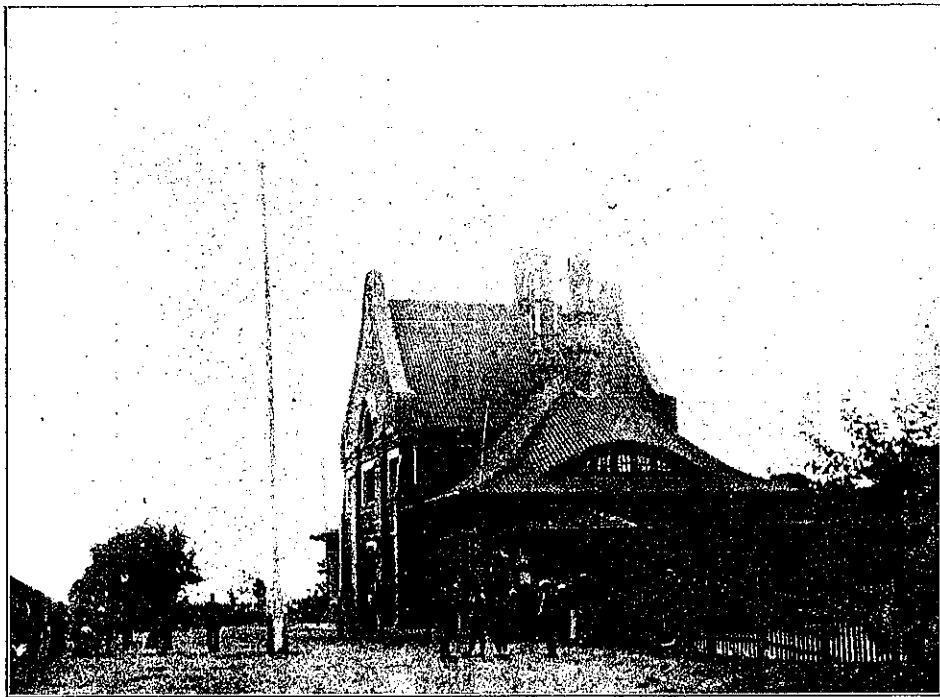


〔寫眞第十七〕 貨物車屋蓋上ノ乗客

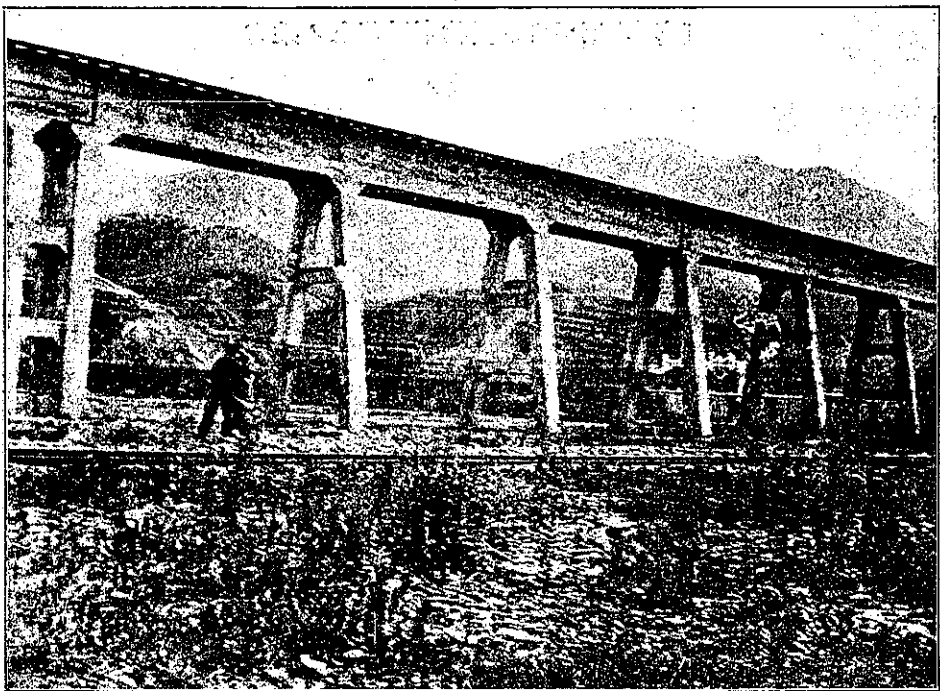


〔寫眞第十八〕 津浦線德州停車場

（土木學會誌第七卷第六號附圖）



〔寫眞第十九〕 津浦線滄州停車場



〔寫眞第二十〕 大冶ニ於ケル鑛石卸棧橋